

令和4年度第1回研究WG活動報告

はじめに

倫理委員会では、令和4年4月13日(水)に令和4年度第1回倫理委員会研究WG(会場出席者14名、Web参加5名)を、かでの2・7/730研修室(会議室定員42名)にて開催いたしましたので報告いたします。

1. 令和4年度第1回研究WG

(1) 富澤委員長挨拶

富澤委員長より令和4年1月に当委員会相談役の花田眞吉技術士が御逝去された報告があり、第1回研究WGの開催に先立ち、哀悼の意を表して出席した委員全員によって黙祷をささげました。

(2) 第12回技術者倫理フォーラムの開催について

令和4年度開催の第12回技術者倫理フォーラムを6月27日(月)にホテルポールスター札幌で開催します。昨年の技術者倫理フォーラムと同様に対面とWebを併用したハイブリッド開催としています。また、第12回技術者倫理フォーラムの基調講演は京都大学の木村亮教授に「技術者として気概を持ち技術力を高めよう」と題して講演をお願いしています。当委員会のWG活動報告は小川委員から「旭川高専共同授業「技術者倫理」における受講者の意識変化に関する考察」と題した発表を行う予定です。



第1回研究WG 会議状況(会場)

(3) 富澤委員による講演

富澤委員より「橋桁落下事故と倫理」と題した講演が実施されました。ジャッキの転倒による橋桁落下事故の原因を分析した結果から、構造的な安定・不安定問題において、力の方向と異なる方向に変形が起こることが「技術者の盲点」として考えられることを題材に、昨今事故が起きているジャッキや杭打機の転倒事故に関する原因についての考察や安全に関する事項を技術者倫理に関する誘因と素因(背後要因)に分けて捉え、素因(正常性バイアスや全制的施設による集団的思考)に対する対策が重要であるといった提言を頂きました。

(4) 令和4年度倫理委員会小WGでの活動内容

令和4年度の8月以降から、WG活動を3つの小WGに分割することとしました。富澤委員長の発案で、3つのWGの活動テーマを過去・現在・未来とすることとしています。それぞれ7～10名程度の規模で偶数月に活動を行い、6月と12月に全WGが一堂に会する場を設けて、それぞれのWGによる活動報告を行うこととしています。5月以降から各WGのリーダーによるキックオフミーティングが開催される予定となっています。

(5) 倫理研究会初代代表花田眞吉氏の追悼について

追悼文を次号のコンサルタント北海道158号に掲載する。担当は今井相談役・富澤委員長とする。

おわりに

第12回技術者倫理フォーラムを令和4年6月27日(月)に開催予定です。倫理委員会としてはハイブリッド開催することを基本的方針としています。詳細はEPOやホームページを通じてお知らせすることになるかと思っておりますので、そちらをご確認ください。みなさんの参加をお待ちしております。